

PRESS RELEASE

2008年10月7日

株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、インターネットの最新技術動向・セキュリティ情報を定期的に発信

-- 最新の技術開発動向や、攻撃の傾向と対策を広く発信する技術情報レポートを発行 --

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)は、インターネットの基盤技術に関する最新の技術動向や、セキュリティ情報を発信する媒体「Internet Infrastructure Review(インターネット・インフラストラクチャ・レビュー)」を発行し、本日より無償で配布を開始いたします。

「Internet Infrastructure Review」は、IIJ がインシデント観測の仕組みで収集した各種攻撃の傾向や対策に関する情報、インターネットバックボーンの運用を通して蓄積した技術的知見等を定期的に発信し、インターネットが抱える技術的課題についての認識を、関連する多くの機関やお客様と共有することを目指します。

誰もが参加できるオープンな性格を持つインターネットは、悪意を持った者による脆弱性を突いた攻撃や個人情報への不正アクセス等、セキュリティに関する課題を多く抱えています。最新の調査でも、DDoS 攻撃(分散サービス妨害攻撃)の大規模化、マルウェアの活発な活動、急増する迷惑メールなど、セキュリティの懸念が拡大し続けている実態が明らかになっています。

組織や国境をまたいでグローバルに広がるインターネットが、安心・安全に使える社会基盤として発展するためには、インターネットの運営に携わる多くの機関が、正しい状況認識を共有し、連携して対応することが必要です。

IIJ は、インターネットの基盤を担う技術者の集団として、これまでも ISP を始めとした多くのインターネット運営組織との連携や、関連する団体での積極的な活動(*)を通して、インターネットが安心・安全に使えるインフラとして発展するよう尽力してまいりました。今回の「Internet Infrastructure Review」の発行と併せて、今後はインターネット上のインシデントの動向をタイムリーに発信する仕組みの整備も進め、情報発信を強化していきます。

IIJ は、今後も技術革新と積極的な情報発信を継続し、インターネットの発展に貢献してまいります。

■Internet Infrastructure Review

- 発行:年4回(季刊) Vol. 1 2008年10月7日発行

- 掲載内容:

インターネットインフラのインシデント(脆弱性、セキュリティ事件等)に関する定量調査および分析
メールをはじめとしたインターネットアプリケーションに関する技術動向

その他、インターネットの基盤技術に関する最新の技術情報や、セキュリティ情報

- 配布方法:

冊子および PDF 形式

購読申し込み・ダウンロードサイト <http://www.ij.ad.jp/development/iir/>

(*) IIJ は、セキュリティ・インシデントに対応する国際組織 FIRST への加盟、日本の通信分野の安全の確保を目的とした Telecom-ISAC Japan の設立時メンバー、国内の主要事業者と共に迷惑メールの対策を検討・実施するワーキンググループ JEAG 設立の発起人などとして、安心・安全なインターネットの実現のため、積極的な活動を実施しています。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 川上、南郷

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>